



配給 株式会社 コムストック



男の魂をブルース・グレイに染めていく

THE BIG BLUE

Director: ANDREW HORN/Producer: YORAM MANDEL/Composer: JILL JAFFE/Screenwriter: JIM NEU
Starring: DAVID BRISBIN/JIM NEU/SHEILA MCLAUGHLIN/JOHN ERDMAN/BILL RICE/TAUNIE VRENON

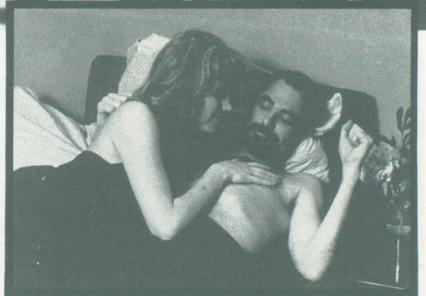
摩天楼に抱かれて

製作:ヨール・マンデル/監督:アンドリュー・ホーン/脚本:ジム・ネウ/音楽:ジル・ジャフィ/編集:イラフォン・ハスベルグ/美術:アン・スチュラー/撮影:カール・タイテルバウム
出演:デヴィッド・ブリスピン/トニー・ブレイン/ジョン・アードマン/シラ・マクローリン/ビル・ライス/スージー・タイレル/ジム・ネウ

1988年アメリカ映画/カラー/100分/ANGELIKA FILMS 作品
© A BIG BLUE PRODUCTION



摩天楼に抱かれて



NYインディーズの異色耽美派アンドリュウ・ホーンがあなたに送る、ポストモダンのフィルムノワール!

これは、そんなよそらの映画とはチト訳が違うハイパー・センシティブなフィルム!! 大胆な書き割りセットをバックに演じられた「究極のメロドラマ」『ドゥームド・ラブ/宿命之恋』で登場、通好みのヘンタイ映画と話題になったアンドリュウ・ホーンの最新作は、ロケーションやセット撮影を意識して使い、前作とかなり趣きが違う。

ストーリーは単純にして複雑。一人のしがたない私立探偵が浮気調査を引き受けるが、一つのの違いが連鎖反応的に彼を運命の罠へと陥れる。二組のカップルと彼の関係は複雑に入り乱れ、ついにクライマックスの撃ち合いへ——典型的なフィルムノワールの物語だ。

ところが、さすがは才人A・ホーン、その描き方はひとくせもふたくせもある。彼にとってNYとは、癒されることのない空虚な心の場なのだ。そしてその心のつぶやきは、ヴィム・ヴェンダースに限りなく近い…。

NYポストモダンのアートシーンで美術、演劇、ダンス、パフォーマンスと密接な人脈をもつA・ホーンは、この作品をコミックス、フィルムノワール、ドイツ表現主義、ロシア構成主義と多領域にわたる視覚デザインを引用しながら、一種のパフォーマンス・シネマ

として表現してしまう。

主役ジャックを演じるデヴィッド・ブリスピンはリチャード・フォアマンやマブ・マインズの舞台上で活躍。マーナ役のシーラ・マクローリンはインディーズ映画の人気女優。カーメン役のトニー・ブレノンにはシークワリード&ロイのマジックショーの踊り手からデビューし、現在ダンス、演劇で意欲的に活動中だ。またビル・ライスは画家出身だが、独特の雰囲気気でインディーズの人気者、『ドゥームド・ラブ』主演の他『ワイルド・スタイル』にも出演した。撮影のカル・タイテルバウムと脚本のジム・ネウはホーン作品の常連。ネウはロバート・ウィルソンの協力者からいまNYアヴァンギャルド演劇界を代表する脚本・演出家として有名だ。音楽のジル・ジャフィは『ストレンジヤー・ザン・パラダイス』『コヤニスカッティ』等の音楽にも参加しており、編集のイラ・フォン・ハスベルグはダニエル・シュミット映画の編集者として有名で、ファスピンダーやシュレーター共一緒に仕事をしている実力派。尚、主題歌を歌う女性歌手スージー・タイレルは、バスター・ポインデクスターとバンシーズ・オブ・ブルースバンドの歌手として欧米を回り、ミック・ジャガーやエルヴィス・コストロとも共演、多くの賞を受けている本格派である。

4月24日(月) 魅惑のレイトロードショー

月～金連日夜PM9:00 特別鑑賞券1,200円発売中

after theater
新宿武蔵野館
03(334)5670